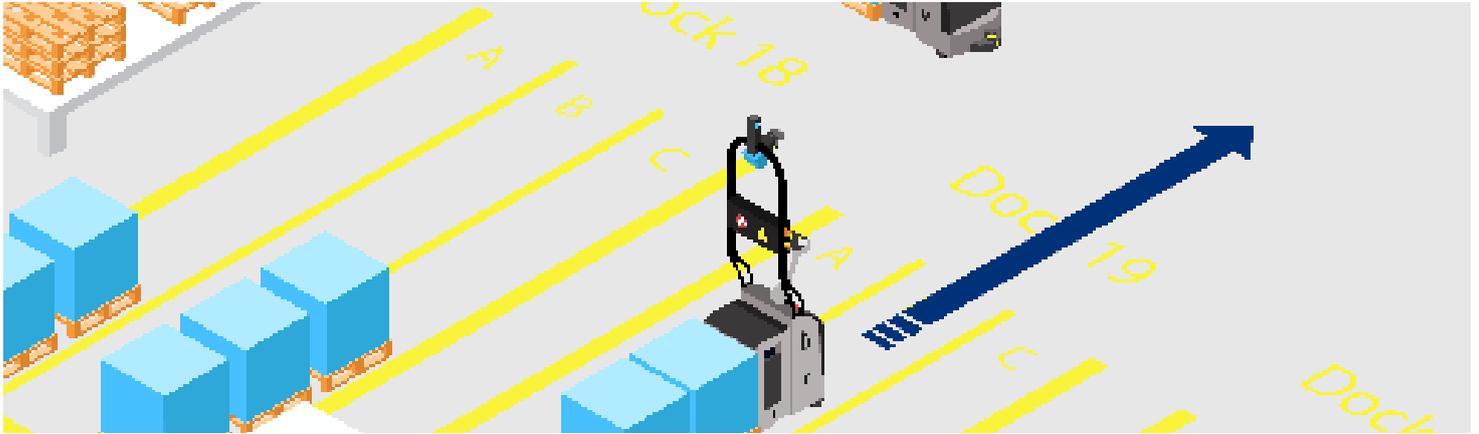


入荷受付から指定通路脇までの搬送



FOCUS

倉庫や配送センターでは、パレットは1日に数回、入庫エリアから保管エリアに移動されます。通常、オペレーターが1枚または複数のパレットを入庫エリアから通路の端まで運び、そこでリーチ型のフォークリフトがパレットを高いラックに保管します。

BALYOのロボットは、マニュアル作業で行われるオペレーターの経路を再現し、パレットの長距離輸送を端から端まで完了させることができます。専用の走行エリアを倉庫内に設けることも可能で、そこでBALYOのリフトトラックが、積み付けが必要なパレットをドロップします。

BALYOのロボットシリーズを使えば、パレット搬送からラッキング保管まで全プロセスを自動化することができます。これにより、スタッカー型やカウンターバランス型でのパレット搬送や、自律型リーチトラックやVNAによる高層ラックへの保管が可能になります。

ソリューション

インテリジェント・パレット検知機能により、ロボットは安全レーザーを使用してステージングレーン(待機レーン)をスキャンし、ゾーン内のパレットを検出して取り除くことができます。スキャン後、パレットが検出されると、その情報がロボットからBALYOロボットマネージャーに送られ、ピッキング・ミッションが開始されます。このロボットソリューションは完全に自律的に自動化されるので、手動でパレットを搬出する必要がなくなります。

水平移動のアプリケーション



導入台数



顧客



現場



なぜBALYOなのか？

ローカルおよびグローバル・サポート

BALYOテクノロジーを搭載したトラックはすべて、OEMとの完全なパートナーシップのもと完全に統合された製品であり、地域の技術サポートとスペアパーツを備えたディーラーネットワークによって完全にサポートされている。

インフラへの初期投資なし

BALYOのロボットによる駆動は、追加のインフラを必要としません。BALYOの技術により、ロボットは安全性以外を考慮することなく、既存の施設内を移動・走行することができます。

デュアルモード

BALYOロボティック・ソリューションは、自律するように作られた標準的なトラックです。どのような運転者でも（クライアントが許可すれば）、どのような目的でもロボット・リフトトラックをコントロールすることができます。

水平移動のアプリケーション 他事例

- ✓ 品質管理または待機エリアへの入庫
- ✓ 生産におけるミルクラン
- ✓ ビル間輸送